

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成24年3月29日(2012.3.29)

【公表番号】特表2012-504299(P2012-504299A)

【公表日】平成24年2月16日(2012.2.16)

【年通号数】公開・登録公報2012-007

【出願番号】特願2011-530037(P2011-530037)

【国際特許分類】

G 1 1 B 20/18 (2006.01)

【F I】

G 1 1 B 20/18 5 5 2 F

G 1 1 B 20/18 5 1 2 B

G 1 1 B 20/18 5 7 2 B

G 1 1 B 20/18 5 7 2 F

G 1 1 B 20/18 5 7 0 F

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月22日(2011.12.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

反復読取りチャンネルにおいて信号を読み取る方法であって、
複数のセグメントを有する読み取られた信号を獲得し、
前記複数のセグメントのそれぞれに信頼性メトリックを割り当て、
誤りが検出されると、前記獲得と前記割り当てとを繰り返す、そして、
前記割り当てられた信頼性メトリックに基づいて、前記セグメントを選択的に保持する
、ことを含む方法。

【請求項 2】

前記信頼性メトリックは、複数の読取り動作に関する各セグメントに割り当てられ、そして、各セグメントの前記信頼性メトリックの値を比較することによって、他のセグメントと比べてより信頼性のある方の信号セグメントが選択される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記信頼性メトリックは、所与のセグメントに関連するソフト・ビット判定、所与のセグメントに関連する対数尤度比、及び所与のセグメントの雑音推定の 1 つまたは複数に基づく、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

反復読取りチャンネルであって、
読み取られた信号における 1 つまたは複数のセグメントを選択する選択回路を備え、前記 1 つまたは複数のセグメントの各々は割り当てられた信頼性メトリックを有し、前記読み取られた信号は複数の読取り動作に関して獲得され、さらに、

前記割り当てられた信頼性メトリックに基づいて前記セグメントを選択的に保持するメモリに結合されたマルチプレクサを備える、反復読取りチャンネル。

【請求項 5】

前記信頼性メトリックは、複数の読取り動作に関する各セグメントに割り当てられ、そして、各セグメントの前記信頼性メトリックの値を比較することによって、他のセグメン

トと比べて、より信頼性のある方の信号セグメントが選択される、請求項4に記載の反復読取りチャンネル。

【請求項 6】

前記信頼性メトリックは、所与のセグメントに関連するソフト・ビット判定、所与のセグメントに関連する対数尤度比、及び所与のセグメントの雑音推定の1つまたは複数に基づく、請求項4に記載の反復読取りチャンネル。

【請求項 7】

反復読取りチャンネルにおいて信号を読み取る方法であって、
読み取られた信号における複数のセグメントの各々に信頼性メトリックを割り当て、
前記割り当てを複数の読取り動作に関して繰り返し、
前記割り当てられた信頼性メトリックに基づいて、前記セグメントを選択的に保持する、
ことを含む方法。

【請求項 8】

前記読み取られた信号は、記憶媒体上にトランスデューサを位置付けることによって獲得される請求項7に記載の方法。

【請求項 9】

前記信頼性メトリックは所与のセグメントに関連するソフト・ビット判定、所与のセグメントに関連する対数尤度比、及び所与のセグメントの雑音推定の1つまたは複数に基づく、請求項7に記載の方法。

【請求項 10】

前記雑音推定は、前記セグメントから基準信号を取り去ることによって獲得される、請求項9に記載の方法。